

表彰

表彰を受けられた皆さんを紹介いたします(敬称略)。
◆全国子ども会連合会表彰



石川浩之 (高)

平成9年から子ども会行事に積極的に関わり、そうさ市子ども会育成連絡協議会の発展に貢献。現在は同協議会会長として活躍し、指導者の立場から、事業の企画・運営、後進の育成に努められています。



中村 薫 (八日市場ハ)

平成6年から子ども会活動に参加し、長年にわたりそうさ市子ども会育成連絡協議会行事の運営に参画。そうさジュニアリーダースクラブの前身・八日市場ジュニアリーダースクラブを創設し、ジュニアリーダー育成に多大な貢献をされました。

◆関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰

▽優良賞

川口資源保全会

科学工作で全国入賞

野田小・藤田さん



野田小学校5年の藤田陽月さん(=写真)が作った科学工夫作品「めざせ金メダル!」が、千葉県知事賞を受賞し、上位の全国展でも全756作品の中から入選作に選ばれました。

スケート競技を題材にした本作品は、ペットボトルと透明チューブを使い、磁力と風力で飾りやチューブ内の紅白ボールを回転させる仕組み。藤田さんは「仕掛けをスイッチで連動させるのが大変でしたが、全国で賞が取れてうれしかったです」と受賞の喜びを話しました。



藤田さんの作品「めざせ金メダル!」

寄付 (2万円以上)

●社会福祉協議会へ

二元会華舞台 様より
東総藤丸会 様より

…51,746円
…30,586円

期間は5月末まで

土地・家屋の価格が確認できます

自分が所有する土地や家屋の価格(評価額)を、市内の他の土地や家屋と比較し、その評価が適正かどうか判断したい場合に、「土地・家屋価格等縦覧帳簿」で確認することができます。手数料は無料です。

縦覧期間：4月1日(月)～5月31日(金) ※受付時間は、土・日曜日、祝日を除く8時30分～17時15分です。

縦覧場所：市役所1階税務課縦覧できる人：①固定資産税の納税者 ②①の同居親族 ③納税

稲作農家の皆さんへ

飼料用米などに取り組みましょう

米の需要量は食生活の変化や、高齢化による消費量の減少や人口減少などにより、全国で年間約10万トンも減少しています。これは、作付け面積で1・9万haに相当します。米の需給と価格の安定を図るためには、需要量に見合った生産を行うことが重要です。飼料



用米や加工用米の作付けに取り組みましょう。

◆飼料用米などの経営メリット

- ・既存の機械や施設で、生産から収穫・調整出荷までできます。
- ・秋の収穫前に、あらかじめ収入額を見通すことができます。
- ・作期の分散により、主食用米の収穫時期と重ならないようにできる品種もあります。

問産業振興課農政班

☎73・0089

PC・スマホから申し込み 公共施設予約システム



市では、パソコンやスマートフォンなどから市内体育施設の予約申し込みができる「公共施設予約システム」を導入しています。ぜひ、ご活用ください。

◆対象施設

- ・八日市場ドーム
- ・市営グラウンド(野球場、テニスコート)
- ・みどり平野球場
- ・山桑野球場

※大会や合宿などでの利用は除きます。

◆システム利用までの流れ

事前の利用者登録が必要です。身分証明書をお持ちの上、八日市場ドーム窓口で手続きをしてくださいます。登録できるのは、中学生以上の人です。

登録完了後、利用者IDとパスワードを使ってシステムにログインすると予約ができます。

問生涯学習課スポーツ振興班

☎73・0097



共興小体育館の屋上へ避難する住民ら（共興地区地震・津波避難訓練）



防災講演会でAEDの使い方を寸劇で披露するシニアクラブ演劇集団（写真上）。講演をする地震学者の穴倉正展さん（同右）



災害対応の意識向上に 地震・津波避難訓練、防災講演会

東日本大震災の発生から8年を迎えるのを前に、共興と中央の両地区で2月24日、防災意識の向上に向けて避難訓練や講演会が行われました。

共興地区では、住民ら約200人が参加して地震・津波避難訓練が実施されました。千葉県東方沖を震源とする巨大地震が発生し大津波警報が発表されたとの想定で、共興小学校と長谷浜津波避難タワーを会場に、避難・誘導経路や両所間の無線交信の手順などを確認。その後、同校体育館で避難経路上の注意箇所などを検証するワークショップなどを行い、災害に備えて意識を高めました。

また、中央地区では、市民ふれあいセンターで防災講演会を開催。「次の巨大地震はいつか」のテーマで講演を行った地震学者・穴倉正展^{まさのぶ}さんは、災害から身を守るためには「その土地の成り立ちや歴史を理解することが重要です」と会場を訪れた人たちに訴えかけました。この他、AED（自動体外式除細動器）の使い方などを解説する寸劇がシニアクラブ演劇集団により演じられた他、八日市場小学校「竹の子オーケストラ」の演奏も披露されました。

聴覚障がい理解深める 耳の日まつり

県内の手話や聴覚障がい者福祉に関心を持つ人が交流を図るイベント「第38回耳の日まつりin匝瑳」が3月10日、八日市場ドームで行われました。

このイベントは、障がい者の文化向上と県民への理解を深めることを目的として、県内市町村を順に巡って開催されているものです。この日は「障がいはひとつの個性」をテーマに、タレントで参議院議員の今井絵里子さんを招いた記念講演の他、匝瑳高校の書道部とJRC部の両部合同による書道パフォーマンスなどが行われました。



書道パフォーマンスを行う匝瑳高校書道部とJRC部のメンバー。巨大用紙に「聴目」と書き上げ会場を沸かせた

教育振興に各小学校へ寄贈



八日市場ロータリークラブから市内の小中学校全10校に、教育振興のために児童図書やホワイトボードなどの学用品（各校へそれぞれ5万円相当のもの。計47万7823円）が寄贈されました。

寄附贈呈式が2月19日、市民ふれあいセンターで行われ、ロータリークラブの宇野佐太夫会長から二村教育長へ目録が手渡されました。

“持続可能な農業”取り組みで受賞

持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善などに取り組む農業者などを表彰する「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」で、飯塚の「Three little birds合同会社」が関東農政局長賞を受賞しました。

同社は、豊和地区の飯塚開畑で、ソーラーパネルの下で大豆や小麦などを栽培する「ソーラーシェアリング事業」の営農部門を担当しています。



関東農政局長賞を受賞したスリットルパースの代表社員・齊藤超さん（右から2人目）と、活動に携わるメンバー